

vol. **36**

The News Letter

2017 WINTER

一般社団法人 **日本歯科審美学会**
General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

さらなる高みへ

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 日野年澄



日本歯科審美学会は「患者・国民・会員が求める学会を目指す」を旗印に奈良陽一郎新理事長のもと、本年度新体制で会務がスタートしました。理事長の提唱する「国民の健康・審美志向のニーズに応える歯科医療の提供を支援する機器・サービスの創出」「歯冠用新素材の探求と応用」

「会員の求めに応じた魅力ある会員向けプログラムの策定」「患者・国民への質の高い審美歯科医療の提供を見据えながらの、会員の意見も組み入れた、認定医・認定士をはじめとする資格認証制度の整備」「患者・国民が審美歯科医療に求める社会的信用や責任に対し、益々大きくなる本学会の担うべき役割の遂行」など、決して簡単ではない様々な課題がありますが、これらを具現化すべく、小委員会を含む17委員会が一丸となり活動を行っております。

さて本学会は一昨年、宮内修平第10代会長(初代理事長)のもと、前執行部の先生方の大変なご苦勞のおかげで無事社団法人化がなされ、これからの社会のニーズに対応する学会の新体制が構築されました。そして学会の前身となる日本歯科審美研究会が1988年に発足してから来年で30年を迎えようとしています。また本年9月には千田 彰第9代会長が大会長となり、日本では20年ぶりに記念すべき国際歯科審美学会(IFED)の第10回世界大会が富山で開催され、世界の最新の歯科医療、審美歯科を広く深く学ぶ機会を得、これから我々が進むべき道に多くの示唆を与えていただきました。これらを考えると、今、本学会は良き伝統を引き継ぎつつ、新たなステージに発展すべき節目にあると強く感じます。

私達はこの学会を日本有数の学術団体に育て上げてくださった先生方のご尽力に心から感謝しつつ、学会のさらなる高みを目指し、冒頭の理事長の提言を実現するために邁進いたします。そのためにこれからも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

第29回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

明海大学歯学部機能保存回復学講座 歯科補綴学分野 大会長 藤澤政紀



一般社団法人日本歯科審美学会の学術大会も来年は29回目を数えます。日々進歩を続ける審美歯科治療に関する情報発信、共有化の場として、この学術大会を平成30年9月29日(土)、30日(日)の両日、埼玉県川越市の「ウエスタ川越」(<http://www.westa-kawagoe.jp/>)で開催いたします。この会場は、川越駅から徒歩4分のところに位置

します。近年交通アクセスが便利になり、観光客が増えている川越市は、「蔵づくりの町並み」、「時の鐘」、「菓子屋横丁」などに代表される「小江戸」としての情緒豊かな街並みが残されています。学会参加の合間に、日常をはなれた空間を探索してみてください。きっと新鮮な何かが見つかることでしょう。

学術大会のテーマを「ほほえみをあなたにーThat's what we are here forー」としました。患者さんがほほえむことで、家族や友人をはじめ周囲の方々がほほえみ、その輪が広がっていきます。その笑顔は、私たちにもほほえみをもたらします。そんな善循環による社会貢献を、我々が担っているのだと再認識できる機会にしたい、との思いをこのテーマに込めました。

特別講演には、歯周組織にフォーカスをあてた審美をテーマに、明海大学の申 基喆教授をお願いいたしました。また教育講演として、笑顔によるインプレッションの大切さを、パフォーマンスたっぷりに、重太みゆき先生に実習形式でご指導いただく企画を用意しました。さらに、American Academy of Cosmetic



ウエスタ川越

Dentistry(米国)、Korean Academy of Esthetic Dentistry(韓国)からの海外特別講演、歯科衛生士、歯科技工士を対象としたセミナー、矯正、保存、補綴それぞれのアドバンスセミナー、そしてランチョンセミナーを企画しております。これらの企画には学術講演委員会と密な連携を取り、アイデアを盛り込みました。学会に参加することで、知識、技能をブラッシュアップするとともに、認定医、認定士として必要な単位習得にもお役立てください。また、奈良陽一郎理事長による理事長講演、日本歯科医学会会長住友雅人先生による本学会会員向けの懇談会も行われます。ごく新しいトピックスとしてWeb上での医療広告掲載に関する問題、特定商取引法によるホワイトニングのクーリングオフに関する問題を取り上げでのシンポジウムも検討しております。市民公開講座を東京歯科大学の佐藤亨教授にお願いしました。多くの方にお越し頂きたいと思います。例年通り、一般口演、ポスター発表も募集いたしますので、ふるってご参加ください。

学術大会で多くのことを学ばれたあとは、懇親会にお越しください。平成30年度は日本歯科審美学会が設立されて30周年となる記念すべき年でもあります。これを受け、今回の懇親会は設立30周年祝賀会として、第29回学術大会懇親会を兼ねた祝宴として開催いたします。学会会場から移動の車を手配し、皆様を懇親会場の川越プリンスホテルにご案内いたします。これまでの30年を振り返り、先人の英知に触れ、エネルギーに満ちた若き会員たちのパワーとの融合をはかり、その相乗効果で今後の歯科審美学のさらなる発展と社会貢献に寄与するマイルストーンとなりますことを願っております。

ほほえみの輪が広がっていくことを楽しみに、準備委員会一同、皆様の参加をお待ちしております。



蔵づくりの町並み



時の鐘

学術大会報告

第10回 IFED世界大会・第28回 JAED大会を終えて・・お礼 第10回 IFED世界大会大会長・IFED前会長 千田 彰

今般、標記両学術大会を無事に終えることができたこと、日本歯科審美学会会員、スポンサー、大会の日本への誘致から運営に関わって頂いた佐藤 亨組織委員会委員長はじめ委員会委員の皆さま、大会開催にあたり格別な配慮を頂いた石井富山県知事をはじめとする富山県、富山市、富山コンベンションビューローの皆さまに深く感謝申し上げます。

大会終盤に台風が富山を直撃するということがでしたが、一部の交通機関に混乱があったのみで、幸い直接の影響を受けることはありませんでした。同じくアメリカでは、ハリケーン襲来で、IFED創設メンバーの一人、Ron Goldstein先生が大会に参加できず残念でしたが、急遽本人からビデオメッセージが届き、ビデオ画面で挨拶をして頂きました。台風やハリケーンの襲来も、IFEDの歴史の中で、逆に良き思い出になるでしょう。

IFEDのプログラムでは、世界のビッグネームによるメインステージでの講演は、国内ではあまり例がない3：1というスクリーンサイズの迫力も加わり、いずれも素晴らしいものでした(写真1)。同じく世界のビッグネームによるセミナーも、ほぼ満席の参加者を得て好評でした。また開会式、富山グランドプラザでのウエルカムパーティー、VIPパーティー(Frenchレストラン



写真1:初日セッション1の総合討論



写真2:Galaのアトラクション、餅つき太鼓を楽しむウクライナ、台湾からの参加者

La Chanceで)、Galaパーティー(写真2)などの社交プログラムも大いに楽しんで頂けたようです。今大会では、IFED歴代会長を招いてその功績を顕彰する「Past Presidents' Event」を開催しました(写真3)。JAEDのリーダーシップによって、この催しを開催できたことは、創設メンバー学会として、今後大いに誇ることができます。

また大会期間中には、「コンパクトシティ富山」の特徴と、多くの観光名所をもつ強みを生かしたツアーを種々準備し、参加者に大いに楽しんで頂けました。「富山の寿司は世界一」と、海外の皆さんは、富山到着時から「お寿司は？」と連呼していましたが、各々満喫してもらえたようです。

一方JAEDの主たる学術プログラムは、実質17日(日曜日)に集約されました。とくに大会長企画の「ハイライトプログラム」、市民公開シンポジウム「美しい加齢に向けて」には、地元への台風直撃が予想される中、約100名の一般市民(一部医師など医療関係者も含む)の参加を得て、「審美歯科の真髄と融和」を大いにアピールできたかと思えます(写真4)。後日参加した複数の市民から「素晴らしい講演有難う」というメッセージを頂き感謝しています。

皆様のご協力とご参加に重ねてお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。なお公式撮影写真は、大会Website、ifed2017.comで公開し、ダウンロードができるようにする予定です。



写真3:IFED Past Presidentsの顕彰



写真4:市民公開シンポジウム(右から植田、Carey、Ametch、福島教授)

海外学会参加報告

KAED(韓国歯科審美学会)30周年記念大会に参加して 大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野 若林一道

11月18～19日にCOEXで開催された韓国歯科審美学会(KAED)学術大会に参加しました。歯科審美学会は、韓国歯科審美学会(KAED)およびAmerican Academy of Cosmetic Dentistry(AACD)と姉妹協定を締結しており、演者や論文の交流を行っています。

KAEDは年に2回大会を開催しており、例年私たちは秋季大会に参加しています。本年度の学術大会は30周年記念大会とのことで、盛大なウェルカムレセプションから始まりました。Seoul National UniversityのLim会長の挨拶から始まり、主賓の方々の挨拶、KAEDの歴史の紹介などが行われました。本レセプションでは、Lim会長のリクエストにより、宮内修平前理事長が得意の歌を披露されました。一曲目はチョーヨンピルのソウル・ソウル・ソウルを歌われ拍手喝采の後、アンコールの声上がり、続けてフランク・シナトラのMy Wayを熱唱されました。レセプションの最後ではベストドレッサー賞の発表もあったのですが、宮内前理事長が男性部門で受賞をされ、大いに盛り上がりました。お土産には、30周年を記念したワインが参加者全員に配られました。

翌日の学術大会は、30周年記念大会であることから、1,300名ほどの参加者があり、例年の倍近い参加があったそうです。JAEDから奈良陽一郎理事長が講演をされ、続けてAACDからSalvatore Lotardo先生が講演をされました。

学会の内容としては、補綴、保存、インプラント、矯正、ペリオ、デジタルデジタルデンティストリーなど、充実した内容の講演やハンズオンが行われていました。

姉妹協定を結んでから年々JAEDとKAEDの交流が深くなっており、JAEDの学術大会にも毎年多くのKAEDメンバーに参加していただいております。機会がありましたら、是非、皆さまもご参加ください。



KAED前日の懇親会



奈良理事長の講演

セミナー報告

第41回 ホワイトニングコーディネーター (WC) 講習会・認定試験報告

東京都開業 椿 知之



第41回のホワイトニングコーディネーター(以下WC)講習会、認定試験が、7月30日に200名が参加し、日本歯科大学生命歯学部で開催されました。日本歯科審美学会が法人化されて受講者の減少が危惧されていましたが、今回もキャンセル待ちが出るほどの人気で、今回の認定試験で180名のコーディネーターおよび

学会会員が誕生する予定です。

今年度は7月30日の東京を皮切りに、12月17日に大阪歯科大学、2018年2月18日に福岡歯科大学での開催が決まっています。

今年度から原則、歯科大学での開催になったため、1回が200名程度と定員に限りがあります。参加希望の衛生士さんは早めの申し込みをお願いします。また更新の衛生士さんはできる限りセミナーや学術大会への参加をお願いします。学術大会に参加して指定講座を受講すれば、1回で更新に必要な単位を取得できます。

今年6月末までに2,759名のWCが誕生しています。今年度も全国で3回の開催が予定されていますので、今年度中に3,000名を超えます。本学会に入会した歯科衛生士の数も2,692名となり、今後も会員数は増え続けると思われます。今年度は9月14～16日に富山で国際審美歯科学会(IFED)および17日に日本歯科審美学会学術大会が開催され、ホワイトニングコーディネーターの更新プログラムもありました。来年2018年は9月29、30日にウエスタ川越で日本歯科審美学会の学術大会が開催される予定です。ホワイトニングコーディネーターの更新用アドバンスセミナーも開催予定ですので、奮ってご参加ください。



学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

東京医科歯科大学理事・副学長 田上順次



このたび日本歯科審美学会より学会功労賞の受賞という栄誉に預かりました。本会の執行部の皆様はじめ会員の皆様に、心より感謝申し上げます。授賞式は富山での学術大会開催時に行われ、同時に国際歯科審美学会も開催されており、大変良い機会に恵まれました。思えば、京都で

のIFEDの際に本会に参加させていただく機会を得て、はや20年が経ちました。

私は学会創設以来のメンバーではありませんが、様々な貴重な経験を積ませていただきました。会長を二期務めさせていただき、その間にはホワイトニングコーディネーターの制度について唐突な提案をさせていただきましたが、皆様のご理解を得て極めて短時間で立ち上げていただきました。当時考えていたのは、審美歯科治療をもっと多くの人々に身近に感じてもらいたいということでした。ホワイトニングコーディネーターにより、ホワイトニング治療の普及は推進されたと思いますが、さらに広く普及しても不思議ではないと感じています。会員数も増え、本学会の存在感も大きくなりましたが、学会が単に会員のためだけでなく、広く歯科界、さらには社会に開かれたものとなり、充実した活動を展開していただきたいと願っております。これにより、歯科審美学が特別の領域ではなくなり、歯科医療すべてに共通の概念となる日が来ることを期待しています。

今年、東京医科歯科大学補綴学教室の石原寿郎教授の半生の書、「手仕事の医療 評伝 石原寿郎」が出版されました。1950-60年代の日本の歯科界の出来事が、多くの著名な臨床家や大学人の実名とともに記録されています。現在の日本の歯科界の礎を築いた先人が、何を考え、どう行動したかを知るうえで、大変すばらしい1冊だと思います。我々が歯科界の一人としてどのように行動すべきかを考えさせてくれました。この栄えある機会に、本会のさらなる発展を祈念しつつ、皆様に本書を推薦させていただきました。

学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

寺田善博



大変光栄なことに、平成29年9月17日、日本歯科審美学会から学会功労賞を受賞致しました。私の日本歯科審美学会における、これまでの活動を評価して頂いたことと思い、嬉しい限りです。

私は九州大学歯学部卒業後、歯科補綴学第一講座に入局して、前装冠の色調に関する研究に従事することになってから日本歯科審美学会に入会させて頂きました。主に、歯科補綴学の立場から、歯科審美に関する研究や臨床に従事してきました。また、歯科補綴学の教育にも審美歯科の考え方を導入してきました。評議員を経て、平成14年4月から平成24年3月まで理事に就任致しました。この間、平成18年4月から平成24年3月まで編集委員会委員長を務めさせて頂き、微力ながら機関誌「歯科審美」の編集、発行に貢献させて頂きました。また、平成19年には第18回学術大会の大会長を務めさせて頂き、九州大学で学術大会を開催させて頂きました。その際にKAED(韓国歯科審美学会)と交流協定を結んだ縁もあり、その後の学術交流にもできる限り関与させて頂きました。

平成25年3月に九州大学を定年退職致しましたが、縁あって1年後の平成26年4月に奥羽大学歯学部歯科補綴学の教授に就任し、現役に復帰致しましたので、学会活動を継続することができました。

平成24年3月には日本歯科審美学会認定医に認定して頂き、審美歯科治療の普及・向上に努めてきました。現在、患者さんの歯科審美についての要求レベルは高く、多くの歯科医師が認定医を目指して審美歯科の治療レベルを向上させ、また患者さんの歯科審美に対する理解を向上させることが重要であると思っております。

平成24年4月から平成27年6月まで監事に就任し、日本歯科審美学会の活動をチェックする重責を担うことになりました。このことにより、私自身、学会活動の重要性を認識することになり大変貴重な経験をさせて頂きました。

平成29年3月に奥羽大学を任期満了により退職したこともあり、その後顧問に就任させて頂き、現在に至っております。これからも日本歯科審美学会の発展を祈念しております。学会功労賞の受賞について、改めて御礼申し上げます。

優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ・シロナ賞を受賞して

東京都開業 前島歯科医院 前島健吾



この度、日本歯科審美学会第27回学術大会で発表いたしました「BTAテクニック®を用いて審美的治療を行った二つの症例」に対して、優秀発表賞(デンツプライ・シロナ賞)という大変名誉な賞を賜り、誠に光栄に存じます。本発表を高くご評価してくださいました先生方、並びに学会関係者の皆様にこの場をお借りし

て深く御礼申し上げる次第です。また、私が本発表をするにあたりご助言を頂きました、この治療法の開発者であり「審美歯科BTA研究会」会長の坪田健嗣先生、補綴物を作製していただいた笹木孝夫技士、並びに研究会の皆様にご感謝の意を表します。

今回ご評価いただいたBTAテクニック®は歯肉の歯頸部ラインを揃え、歯列も整えるだけでなく歯肉退縮をも予防出来る審美治療です。歯肉ラインを根尖方向に移動させるために、クラウンの支台歯形成と同時に歯肉切除を行い、切除された歯肉が後戻りしないようにオーバーハングの状態でクラウンマージンを作成します。特に歯肉退縮に伴う楔状欠損、根面齲蝕、分岐部病変、ブラックマージンの発生を防止できるというメリットを有しています。本法は歯科技工士との連携により、精度の高い補綴物を装着することで長期にわたり安定した臨床結果が期待でき、MIの観点からも今後の審美的な補綴治療において特に有効であると考えられます。

研究会では、定期的にセミナーや症例発表会を行うことでその術式などを学び、会員同士で研鑽を積んでおります。この受賞は、私のみならず、研究会会員の今後の大きな励みになることでしょう。

今回受賞した第27回学術大会のテーマが「歯科審美 さらなる高みを目指して」であったように、私も当学会会員の皆様と共に新しい技術や材料の見識を深め、国民の健康と幸せに繋がるよう貢献できれば幸いです。

日本の審美歯科を牽引している当学会の発展を心より祈念して受賞の挨拶とさせていただきます。

今回は誠に有り難うございました。

委員会報告

編集委員会

会員の皆様、いつも「歯科審美」の発行にご協力いただきましてありがとうございます。お陰様で今年9月に、「歯科審美」第30巻第1号を発行できました。この号では、症例報告4編(うち認定医プレゼンテーション・長期症例3編)と特集3編、合計7編の論文が掲載されております。残念ながら、原著論文の掲載はございませんでした。特集では、「歯科治療へのジルコニアの応用」をテーマとして、ジルコニアについて材料学的にあるいは臨床的に精通されている3名の先生方からご執筆戴きました。紹介文にも記載されているとおり、CAD/CAMシステムを用いたジルコニア加工の容易化と単一構造体で審美性の高い高透過性ジルコニアの開発により、今後の歯科臨床でジルコニア修復が盛んに行われていくことが予想されます。是非ご一読いただき、今後の臨床にお役立ていただきたいと思います。

日本歯科医学会は専門分科会の5年更新制度の実施を提案し、更新条件として年間20編以上の論文掲載を義務化すると聞いております。「歯科審美」では、一号あたり10編以上の論文掲載が必要となります。将来、本学会が専門分科会に昇格するには、この論文数の条件をクリアしなければなりませんので、会員の皆様からの積極的なご投稿が必須となります。原著論文はもちろんのこと、症例報告、臨床テクニックの紹介等々、是非ご投稿いただけると幸いです。

さて、近年、臨床研究に対する倫理的な規制が厳しくなっています。本年4月7日に厚労省から「臨床研究法」が公布されました。この政令が公布から1年以内に施行されることを踏まえ、本学会としては、倫理委員会と編集委員会で倫理規定と投稿規定の見直しについて検討しています。投稿規定が更新された場合、会員の皆様にできるだけ早く周知したいと考えております。また、論文掲載において利益相反(COI)の申告が必要になり、「歯科審美」にご投稿いただく際にも、第29巻第2号からCOI自己申告書(学会ホームページからダウンロードして使用)の提出が義務付けられていますのでご注意くださいと思います。

近年、「歯科審美」への投稿数が増加傾向にあると感じておりました。しかし、第29巻で合計16編のご投稿をいただいたものの、第30巻の投稿数は、査読中の第2号を含め、合計10編(原著3編、症例報告6編および総説1編)であり、以前のように減少傾向を示しております。会員皆様からの積極的なご投稿を再度鼓舞させていただきたいと思います。原著論文はいうまでもなく、認定医・認定士の先生方には是非とも臨床論文(長期症例報告)のご投稿をお願い申し上げます。

(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、IFED(International Federation of Esthetic Dentistry)に組織加入しています。また、JAEDは、アメリカ(American Academy of Cosmetic Dentistry)および韓国(Korean Academy of Esthetic Dentistry)の学会と姉妹協定を結んでおり、演者や論文の交流を進めています。

2017年9月に、第10回IFED富山大会(千田 彰大会長)が開催されました。ここでは、アメリカ(AACD)からD.Rickert会長、韓国(KAED)からDr. J.K. Kangをお迎えし、日本の宮崎真至教授(日大)を加えた3名の先生が講師となって姉妹協定を結んだ3学会のセッションを開催しました。

また、AACDの公式雑誌2017年夏号に坪田健嗣先生(東京都)の論文が掲載されました。2018年4月に開催されるAACDシカゴ大会には、この坪田健嗣先生を公式の演者として派遣します。

2017年11月には、ソウルでKAED30周年記念大会が開催されました。この学会には、奈良理事長を公式演者として派遣しました。学会の詳細は、若林広報委員長のレポートをご覧ください。

審美関連の国際学会情報は、JAEDホームページに掲載いたします。また、IFED富山大会、KAED30周年記念大会などの写真を日本歯科審美学会の公式フェイスブックページに掲載しております。ぜひご覧ください。よろしくお願いいたします。

(委員長 中村隆志)



IFED理事(富山)



KAED Lim会長とJAED 奈良会長(富山)

認定医委員会・認定士委員会

第42期認定医として5名が新たに認定されました。また、第43期認定医は書類審査を終え、2018年1月に口頭試問の予定です。残念ながら、今年度の認定士の出願は、歯科技工士・歯科衛生士ともにありませんでした。次回の募集は、2018年4月の予定です。準備が整いましたらホームページに掲載しますので、有資格会員の方は是非、認定医・認定士取得をご検討ください。

本学会は、会員数に比して認定医・認定士の数が多くありません。認定制度の充実をはかるために、全会員を対象にアンケート調査を実施の予定です。その際は、ご協力をお願いいたします。
(統括者 大槻昌幸)

学術講演統括委員会

今年度第1回目の学術講演委員会会議をIFED会期中の9月15日、学会プログラム終了後に富山国際会議場205号室にて開催いたしました。歯科医師学術講演委員会、歯科技工士学術講演委員会、歯科衛生士学術講演委員会が初めて一堂に会し、合同会議と部会に分かれての会議を行い、今期の活動方針を協議しました。今期に開催するセミナーの骨子に熱い想いを投げかけ、時間のたつのも忘れ、積極的な意見が湧き出しました。さらに、今期からは学術大会の企画に対しても、学術講演委員会が積極的にかかわることが活動内容の一環となりましたので、来年開催される第29回学術大会の企画も検討いたしました。第1回目のセミナーを2018年3月21日(祝日)に昭和大学で開催いたします。具体的な内容は、今後常任理事会、理事会に諮り決定しましたのちにお伝えします。テーマは歯科医師・歯科技工士向けとして『接着を活かして審美を極める～ジルコニア修復とダイレクトボンディング～』、歯科衛生士向けとして『ホワイトニングと口腔内規格写真を極める』です。隣接した会場で同時に開催いたしますので、時間帯によっていずれの聴講も可能です。今期は5回のセミナー開催を予定しており、『極めるシリーズ』



を計画しています。詳細は改めましてご案内いたします。委員会内には熱気があふれ、エネルギーが充満していますので、皆様の関心を集めるセミナー、学術大会になるものと思います。

会員の皆様からのご意見、ご要望等ございましたら、歯科医師学術講演委員会の脇智典委員長、歯科技工士学術講演委員会の齊木好太郎委員長、歯科衛生士学術講演委員会の山羽京子委員長にお声がけください。
(統括者 藤澤政紀)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

去る7月30日曜日に、新執行部体制で第一回のホワイトニングコーディネーター講習会並びに認定試験が執り行われました。会場は新理事長であります、奈良陽一郎先生のお膝元、飯田橋、日本歯科大学生命歯学部をお借りして参加者192名、受験者179名の応募によって開催いたしました。時折小雨交じりではありましたがおかげさまで事故やトラブルもなく終了することができました。今年度からはなるべく開催予定地の近隣の歯科大学を会場としてお借りして開催することを基準とさせていただきます。さらに講習会では極力コーディネーター教本を活用し受講者の皆様が理解しやすい工夫もするよう努力しております。講師の先生方におかれましては限られている時間内に重要な案件をいかに受講者に伝えるかをお考えになられ大変ご苦労されていることを私も痛感している次第です。

今後のホワイトニングコーディネーター講習会は昨今歯の漂白という項目が美容医療分野に組み込まれ消費者庁、厚生労働省などからも観察され一層この漂白に関する正しい知識と取り扱いを本学会員の先生方にもご理解をいただかなければと思っております。是非ご協力、ご鞭撻をいただきたく存じあげます。

これから一層寒くなる季節が到来いたします。皆様におかれましては風邪などを召されぬようご自愛いただきつげいただき新しい良い年をお迎えになることを心よりお祈りいたしましてニュースレターとさせていただきます。

(委員長 真鍋厚史)

.....

社会医療委員会

本委員会では、社会保険関連の活動として、医療技術評価提案書の作成準備および学術的根拠の収集、蓄積を行います。また、歯科審美に関する医療問題に関する見解の取りまとめと解決などの医療問題関連の活動も行う予定です。

なお、委員会メンバーは、委員：金子佳代子、佐藤洋平、新谷明一、横田春日(敬称略、五十音順)、幹事：本田順一です。

会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(委員長 小峰 太)

規則検討委員会

前号のニュースレターでご報告しましたように、本委員会では任意団体時の規則・細則、内規や申合せなどを、新たに定めた「定款」に整合するよう更訂作業を鋭意進めております。現在、数ある規定文の中で本会の運営に関わる重要な案件を検討中です。

本会には、正会員、賛助会員及び名誉会員の3種類の会員が置かれていますが、そのうち正会員の中から選出された代議員(100名以上200名以内)をもって法人法に規定された社員としています。そして、これらの代議員により構成される社員総会は、言わば本会の最高決定機関となります。

また、本会には、理事と監事の2つの役員が設置されています。代議員の中から選出された理事は、理事会を構成し会員のために会務を執行します。監事は、理事の職務の執行の監査、すなわちお目付役です。

本委員会では、現在、代議員や役員(理事・監事)の選任のための規定文、及び副理事長選出のための内規などの整備を鋭意行なっています。前述のごとく、法人化された本会の事業の運営・活動は社員総会によりますが、その基盤は会員一人ひとりの意志によってなされています。したがって、会員の皆様から忌憚のないご意見を是非ともご教示頂ければ幸甚です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。(委員長 富士谷盛興)

広報委員会

広報委員会では年2回のニュースレターの発行、およびホームページの更新を行っています。皆様のお力添えにより、7月末にはニュースレター第35号を、そして今回、ニュースレター第36号を無事に発行することが出来ましたことを深く感謝申し上げます。

本号では、日野副理事長からの巻頭言、第10回国際歯科審美学会富山大会および第28回日本歯科審美学会大会報告、第29回大会案内、各委員会報告、セミナー報告など盛り沢山の内容が掲載されていますので、ぜひご一読ください。特に審美歯科治療に関わる事項として、「**歯の漂白(ホワイトニング)治療へのクーリング・オフ制度の適用について**」、「**医業等に係るウェブサイトの監視体制強化事業の開始について**」、の記事を掲載しておりますので、ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

委員会としては、平成29年9月15日に富山国際会議場会議室において、仲西康祐委員、有田博一委員、山田和伸委員、松永興昌委員、(欠席：寺田典絵委員)出席のもと、第1回広報委員会を開催いたしました。これまで本委員会はホームページ・ニュースレター委員会という名称でありましたが、本年度から広報委員会に名称が変更になりました。新体制発足後初めての委員会でしたが、活発な議論が行われ、新たなシステムづくりやSNSを用いた広報方法など、様々な意見がでました。

日本歯科審美学会の活動をより広く、わかりやすく学会員や国民の皆様にお知らせできるよう頑張っていきますので、広報委員会の活動にご助力賜りますよう、よろしく願いいたします。

(委員長 若林一道)

.....

歯の漂白(ホワイトニング)治療へのクーリング・オフ制度の適用について

「特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する政令」と「特定商取引に関する法律施行規則の一部を改正する命令」が2017年6月30日に公布され、2017年12月1日から施行されます。

これら法令によって、歯の漂白(ホワイトニング)治療は特定継続的役務となり、一定以上の契約期間・料金の場合に、契約の解除(クーリング・オフ制度)が適用されます。

本学会会員におかれましては、適切に対応されますようお願いいたします。

●消費者庁ホームページ 特定商取引法の改正について

http://www.caa.go.jp/trade/index_1.html#promulgate

.....

医業等に係るウェブサイトの監視体制強化事業の開始について

美容医療サービスに関する消費者トラブルの相談件数が増加していることから、医業等に係るウェブサイトの監視体制強化事業が開始されました。

本学会会員におかれましては、医療広告・医療機関ホームページについて、適切な運用に努められますようお願いいたします。

●厚生労働省ホームページ 医療法における病院等の広告規制について

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kokokukisei/

●医療機関ネットパトロール相談室

<http://iryuokoukoku-patroll.com/>

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://osada-group.jp/>



カポデンタルシステムズジャパン株式会社 オームコジャパン
〒140-0001 東京都品川区北品川14-7-35
御殿山トラスタワー15階
Tel: 03-6859-0065
<http://www.kavo.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソスミスクライン・コンシューマーヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4231-5108
<http://glaxosmithkline.co.jp/gsk-chj/>



クラレノリタケデンタル株式会社
クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー
〒141-8684 東京都品川区北品川16-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-296303
<http://www.mmm.co.jp/unitek>



デンツプライシロナ株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel (フリーダイヤル): 0120-789123
<http://www.dentsply-sankin.com/dentsplysirona/>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel (フリーダイヤル): 0120-54-1182
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下丸
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

kuraray

Noritake



品質の連鎖。

KATANA[®] Zirconia
ノリタケ カタナ[®]ジルコニア



D2000

カタナ[®] デンタルスキャナー D2000

KATANA[®]



DWX-51D



KATANA[®] AVENCIA[®] Block
カタナ[®] アベンシア[®] ブロック

●印刷のため実際の色調と異なる場合があります ●仕様及び外観は、製品改良のため予告無く変更することがありますので、予めご了承下さい。●ご使用に際しましては添付文書を必ずお読み下さい。

クラレノリタケデンタル
インフォメーションダイヤル

☎ **0120-330-922**

Shaping the Future of Esthetics

クラレノリタケデンタル株式会社

【製造販売元】クラレノリタケデンタル株式会社
〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

【販売元】株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
お客様相談センター：0800-222-8020

○カタナ[®] デンタルスキャナー D2000
一般医療機器 歯科技工室設置型コンピュータ
支援設計・製造ユニット
医療機器届出番号：15B1X10001290009
○歯科用CAD/CAMマシン DWX-51D
一般医療機器 歯科技工室設置型コンピュータ
支援設計・製造ユニット
医療機器届出番号：22B3X10006000021
【製造販売元】ローランドディー・ジー・株式会社
静岡県浜松市北区新都田1-1-3

○ノリタケ カタナ[®] ジルコニア
管理医療機器 歯科切削加工用セラミックス
医療機器認証番号：223AFBZX00185000
○カタナ[®] アベンシア[®] ブロック
管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料
医療機器認証番号：226AFBZX00116000

K2274624C(75*190) 06/2017

3M Science.
Applied to Life.™

APC™ Flash-Free 接着材付き アプライアンスシステム



接着材&
不織布ファイバー付き

簡単! 正確! スピーディー!
1歯15秒^{*1}のポジショニングと
1.9%以下^{*2}の低い脱落率を両立。

※1 *According to... early users APC Flash-Free Adhesive has shown a 40% reduction in bonding time...*, S10659, 03/2013.

※2 ブラケット脱落率調査結果(矯正歯科医42名による評価)

3M Unitek Customer Evaluation Reports, 42 Doctors, N.America/Australia/Europe, 1997 brackets bonded, 2012-13

APC™ Flash-Free
Adhesive Coated Appliance System

販売名: クリアティ セラミック ブラケット 認証番号: 219AKBZ00120000

販売名: クリアティ SL セルファイバー強化アプライアンスシステム 認証番号: 219AKBZ00092000

販売名: ビクトリー シリーズ チューブ 認証番号: 219AKBZ001174000

販売名: ビクトリー シリーズ メタル ブラケット 認証番号: 219AKBZ00142000

3M, APC, ユニテック, ビクトリー シリーズ, クリアティは、3M社またはその関連会社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

ユニテック製品部

<http://www.mmm.co.jp/unitek>

お問い合わせは カスタマー サービスへ

☎0120-296-303

※受付時間 9:00~17:30 月~金 (土・日・祝日を除く)

※フリーダイヤルが繋がらない場合 03-6409-3064

さらに進化して登場!

VALO[®]

GRAND



- 従来のコードレスレンズから
サイズを150%拡張した新レンズを搭載
- 背面に新たに追加された照射ボタン
- 3つの照射モード
スタンダード 1,000mW/cm
ハイパワープラス 1,600mW/cm
(※従来のコードレスは1,400mW/cm)
エクストラパワー 3,200mW/cm
- 3種類のLEDパネルを搭載することにより、
395nm-480nmの広範囲の波長域をカバー
- 丈夫でスリムなアルミ一体型のボディで、
届きにくい箇所にも照射可能
- 熱がこもりにくい設計とボディ
- コストパフォーマンスに優れたバッテリーを採用

VALO[®] GRAND コードレス

5972-JP

通常価格：179,000円

販売名：VALO GRANDコードレス /
一般的名称：歯科用光照射器 /
一般医療機器 / 特定保守管理医療機器 /
医療機器届出番号：13B1X10086000069



0120-060-751 ULTRADENTJAPAN.COM

facebook.com/ultradentjapan

本社 〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5 初台村上ビル4F

TEL (03)5365-1760 FAX (03)5365-1759

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-4 MF新大阪ビル4F

TEL (06)6151-3251 FAX (06)6151-3252

第一種医療機器製造販売業 許可番号：13B1X10086

©2015 Ultradent Products, Inc. All Rights Reserved.

ULTRADENT
JAPAN 株式会社

PRECISION MICROSCOPE

Bright Vision®

高い精度と充実した機能を標準装備
コストパフォーマンスに
優れた手術用マイクロスコープ



オプション

ハリオ オブジェクトィブ レンズ



対物レンズの焦点距離範囲が100mmに広がり、術中のクイックなフォーカシングが可能となるオプションです。

新規導入時 標準価格 **¥300,000**

**Full HD
1080**

従来比約6.8倍の情報量

フルハイビジョンカメラ内蔵モデル

LED照明 | FULL-HDカメラ内蔵 | 標準価格 **¥2,400,000**

一般医療機器 | 機械器具 (25) 医療用鏡 | 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) | 医療機器届出番号:1382X00022000043号 | 特定保守管理医療機器

製造販売元: **ペンタロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／奈良 陽一郎

編集／一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/